

## 学長就任の抱負



文教大学は、1966年創立の立正女子大学を母体とした大学で、1977年に男女共学となりました。大学は、埼玉県越谷市にある越谷キャンパスと神奈川県茅ヶ崎市にある湘南キャンパスから成ります。教学組織としては、現在6学部、5研究科、専攻科、外国人留学生別科を持っています。

文教大学が創立以来もっとも大切にしているものの考え方、すなわち建学の精神は、「人間愛に基づく教育」です。これは、一言でいえば、人を尊重し、思いやりの心を育むことです。学生には、人のいのちを大切にする心情や人間らしい心づかいができる人間になってほしいと願っています。

いくら専門の知識や技術を積んでも、それが人の幸せにつながらないものでは、いったい何のための学びでしょうか。私たち教職員は、「教育の質」を高め、学生が4年間の学びを通じてえた知識を生かして、卒業後に社会の中でしっかりと役割を果たしうる有為な人材を育てることに全力を尽くします。

これから文教大学が取り組むべき主な内容を以下のように考えています。

### ☆ 「教育の質」を上げる

大学の目的は、学生が将来に夢を実現できるように、実力と自信を持てるようにすることです。またそれが大学の社会的責任と考えます。私たちの教育の基本は、端的に言えば「授業」にあります。学生に満足してもらえる教育方法や内容を追求し、効果的な授業を実施します。将来、「授業の文教」と評価されるようになるよう、教育体制づくりに努めたいと思います。

### ☆ 地域連携を強化する

地域からの安定した信頼と支持を得られるよう、生涯学習事業の推進、高校・大学の連携の強化、学生の地域ボランティア活動（学校での体験を含む）の支援を進めます。そのために、地域の公益団体等との協力体制の強化を図ります。学生を地域で育てていただくという発想をもって臨みたいと思います。

☆ 国際化に照準を当てる

社会のグローバル化に向けた教育体制を強化します。学生の英語力の強化が大きな課題になります。語学教養の強化、海外体験留学の促進、英語による授業の増設を図ります。また、外国人留学生の受け入れや国外留学制度の充実を図り、異文化理解や国際感覚の涵養の機会を増やしたいと思います。

☆ 直接対話を重視する

学生がキャンパスに来て、授業、クラブ活動、イベント、昼食などの機会に学生同士、また学生と教職員が **Face to Face** の関係で会話や対話を楽しむことができる環境を大切にします。ゼミ活動を重視し、学びの成果の発表の場も積極的に作ります。学生がキャンパスに来ることが楽しくなるように、学生支援の態勢をより強化したいと思います。

思えば、私は30歳のときに文教大学に奉職し、36年ほどが経過しました。その間に教職や校務の経験を通じて学んだことを、大学のリーダーとしての職務にすべて傾注するつもりです。そして文教大学が擁する教育力と研究力を十分に生かして、有為な人材の育成や地域社会への貢献など、大学に求められている社会的責任をしっかりと果していきたいと考えています。

## 主な経歴

### 1 職歴

|       |     |         |                                      |
|-------|-----|---------|--------------------------------------|
| 1977年 | 4月～ | 1982年2月 | 文教大学人間科学部専任講師                        |
| 1982年 | 2月～ | 1993年3月 | 同 助教授                                |
| 1993年 | 4月～ | 現在      | 同 教授                                 |
| 2006年 | 4月～ | 2009年3月 | 文教大学人間科学研究科長、生涯学習センター長、<br>文教大学学園評議員 |
| 2009年 | 4月～ | 現在      | 文教大学副学長、人間科学部長、入学センター長、<br>文教大学学園評議員 |

### 2 社会的な活動

#### (埼玉県内での活動)

|       |      |         |                                      |
|-------|------|---------|--------------------------------------|
| 1995年 | 12月～ | 1996年3月 | 埼玉県ボランティアネットワーク推進連絡協議会委員長            |
| 2003年 | 1月～  | 2005年1月 | 埼玉県生涯学習審議会会長                         |
| 2004年 | 4月～  | 2010年3月 | 埼玉県NPO活動促進助成運営委員会委員長                 |
| 2005年 | 7月～  | 2007年7月 | 埼玉県社会教育委員会議議長                        |
| 2009年 | 4月～  | 現在      | 埼玉県私立学校審議会委員                         |
| 2011年 | 4月～  | 現在      | 公益財団法人日本教育公務員弘済会埼玉支部<br>公益事業選考委員会委員長 |

#### (国及び広域での活動)

|       |      |          |                                    |
|-------|------|----------|------------------------------------|
| 1986年 | 3月～  | 1988年2月  | 文部省社会教育審議会専門委員                     |
| 2002年 | 4月～  | 2002年10月 | 総務省統計審議会専門委員                       |
| 2003年 | 10月～ | 2008年11月 | 社団法人全国青少年育成国民会議<br>「少年の主張全国大会」審査委員 |
| 2004年 | 4月～  | 2005年10月 | 総務省統計審議会専門委員                       |
| 2008年 | 2月～  | 2009年9月  | 内閣府統計委員会専門委員                       |
| 2009年 | 6月～  | 2012年9月  | 社団法人全日本社会教育連合会評議員                  |

### 3 研究上の活動

|  |     |    |                             |
|--|-----|----|-----------------------------|
| ・日本生涯教育学会会員、アジア南太平洋成人教育協議会 (ASPBAE) 生涯会員 |     |    |                             |
| 2011年                                    | 4月～ | 現在 | 国立教育政策研究所客員研究員              |
| 2012年                                    | 7月～ | 現在 | 生涯学習・社会教育研究推進機構 (IPSLA) 理事長 |

以上